



さかた かずひろ
坂田 一広 議員



録画映像は
こちらをCHECK

子どもの窒息事故防止対策は

答 文科省の手引きにより給食指導

問 国が食品による子どもの窒息事故について注意喚起を促しているさなか、都内の幼稚園で園児がブドウを喉に詰まらせ死亡する事故が発生した。町の対策は。

答 教育長 文科省の手引きにより給食指導を実施。給食センターでは、過去に問題のあつた食品などは提供しないなどの注意をしている。

答 健康子育て課長 保育園・認定こども園では、身近な対策として、子どもの手の届く場所に物を置かない、食材は小さくカッ

トするなどの対策をしている。

「集中と選択」今後の計画は

答 漆原総社線第一工区の整備など

問 昨年6月定例会の町長施政方針で、「集中と選択」で行うとした、インフラなど

の整備は終了、または終了に筋道がついた。今後の計画は。

答 町長 上野原浄水場改修事業、都市計画道路漆原総社線第1工区の整備、明治地区学童クラブの建設、学校給食調理施設の整備計画などに取り組んでいきたい。

問 建て替えの費用はおおむねどれくらいかかるとされる。

答 教育委員会事務局長 町と同規模の自治体の例では、建物だけで13億円から18億

3校のPTA会長、自治会連合会会长、スポーツ協会会長による請願の「早急な着手」という願意に沿えていいのでは。

答 教育委員会事務局長 請願者との意見交換を行った際に、早急な着手・完成は難しいことに理解は得られたと思う。

答 教育委員会事務局長 請願者との意

問 八幡山グラウンドの整備・拡張は、今後総合計画などで検討するとしているが、

見交換を行った際に、早急な着手・完成は難しいことに理解は得られたと思う。

答 教育委員会事務局長 まず、町の学校給食調理施設に望まれる施設の規模・設備・衛生管理などに関する基本的な構想を作成するため、基本構想作成支援業務委託の費用を今回の補正予算に

問 総事業費約12億8千万円の「漆原総社線」の整備には、どれくらいの期間がかかるか。

このようないスケジュールで建て替えが進むのか。



建て替えには高額の費用が必要となる（給食センター）



かなや やすひろ
金谷 康弘 議員



録画映像は
こちらをCHECK

駒寄SIC 大型車対応化 予算の推移は

答 当初予算に
12億の増
計24億、
来年度6億

問 駒寄スマートIC
大型車対応化事業
の、供用開始は令和3
年9月予定だが、事業
予算額の推移は。

答 町長 平成25年
度、概算約12億円

で事業化。

答 建設課長 平成29
年の変更是約5・

2億円の増額で、橋り
ょう・埋蔵文化財調査・
群馬用水などの補償費
など。平成31年は約6・
5億円の増額で、工事
単価・光ケーブルの移
設・消費税など。合計
11・7億円の増額で総
事業費額は約24億円。

問 駒寄スマートIC
大型車対応化事業
の、供用開始は令和3
年9月予定だが、事業
予算額の推移は。

答 町長 平成25年
度、概算約12億円

で事業化。

答 建設課長 平成29
年の変更是約5・

問 駒寄スマートIC
大型車対応化事業
の、供用開始は令和3
年9月予定だが、事業
予算額の推移は。

答 町長 平成25年
度、概算約12億円

で事業化。

答 建設課長 平成29
年の変更是約5・



県に対する町の対応の真価が問われる
(吉岡バイパス延伸予定地)

問 今後、供用開始ま
でにかかる概算工
事費と工事内容は。

答 建設課長 概算約
6億円。ランプ内
ETC機械設備・舗装・
標識工事など。

問 当初の供用開始は
平成30年3月。約
3年半の遅れの要因は。

答 町長 補助金の確
保など総合的判断
に判断。

問 今後、供用開始ま
でにかかる概算工
事費と工事内容は。

答 建設課長 農業
用水排水計画は。

問 農業用水排水計画は。
建設課長 ジョイ
フル本田は敷地内
に貯留槽を設け、南側
県道を暗渠にて横断、
片貝・吉開戸線を経て
午王頭川へ。住宅展示
場は既設水路にて午王
頭川へ。

問 令和9年度までに
着手予定の県事業
吉岡バイパス延伸につ
いては、今現在着手に
向けて検討の位置づけ、
町は県に対しデータに
基づく必要性を明確に
示す必要があるので。

成を進める中、最終的
に判断。

問 令和9年度までに
着手予定の県事業
吉岡バイパス延伸につ
いては、今現在着手に
向けて検討の位置づけ、
町は県に対しデータに
基づく必要性を明確に
示す必要があるので。

答 建設課長 バイパ
スの延伸の必要性
を具体的な数字を用い
て明確にし、町づくり
の論点整理を行い、県
に要望。

成を進める中、最終的
に判断。

14



小池 春雄 議員

録画映像は
こちらをCHECK

将来の安心のために尽くせる手立てを

答 希望が持てる政策運営を心がけていく

問 コロナ禍で多くの人たちが、先が見えず、不安を抱いている。今ほど行政が頼ら
れている時は無いと思う。将来の安心のため
に尽くせる手立てを、しっかりと行うべきだと
思う。私たちが想像して
いた以上に、コロナ
禍で多くの人たちが心配している。さまざま
な施策を実施してきた
が、これからどのように
な施策を考え実施して
いくのか。

答 町長 昨日（12月2日）は、県で44
人の感染者が発表され、警戒度の1段引き
上げが発表されるな
ど、大変厳しい局面であると認識している。
町では、町内事業者の皆さんへの需要喚起
と、町内事業者を知つていただきながら、町
内消費の充実を目指し、地域商品券事業、
緊急対策経営持続化助成金事業を実施。現状
をよく把握しながらこれまでの生活に希望が
持てるよう政策運営を心がけていきたいと考
えている。

問 吉岡町の緊急対策
は、国の持続化給付金（個人は100万、法
人は200万円）を受けた人が対象。議会と
してはこれが受けられなかつた小規模事業者
(農業も含む)を対象に助成を要望したが、
なぜできなかつたか。

答 介護福祉課長 社会福祉協議会で行
う配食サービスや移送サービスの、利用者負
担分の助成を継続。援護が必要な人に対する
地域ぐるみの助け合いのシステムを目指して
いる中で、見守り活動を開始している自治会
が増えている。また、障害者への支援とし
て、コロナの影響で受託事業が減少している
事業所に対し、町から一層の事業委託ができ
るよう、各課横断的に呼び掛けるなど協力体制
を整えていきたい。

高齢者・障害者の実情に合う対策を

問 高齢者や障害者に
対し、その実情に合わせた対策が求めら
れるが、町はどのような対策を講じていくの
か。

答 町長 議会からの
要望は大変重いと
感じたが、町の財政状況などを考慮し、健全
な財政運営をすすめることが第一と思ってい
る。また、困窮者対策は改めて調査。困つて
いる人の内容を確認していきたい。

委員会審査
賛否一覧
一般質問
一般質問のゆくえ
ひと☆人他



利用者負担分を助成している（配食サービス）